



スタッフ紹介

いとう としひろ
伊藤 寿浩

生年月日

S47.9.22

血液型

A型

趣味

好きな食べ物

特にナシ

すいか、メロン

休日の過ごし方

妻とのランチデート若しくは娘とのデート

仕事への誇り・想い

人は誰しもが、生を受けそののち終わりを迎える。その中で、最期にお世話の出来るこの葬儀という仕事に誇りを持っています。

常に初心に立ち戻り、当家様の心情に少しでも寄り添える様、常に配慮と気配りを心掛けています。

人の人生、お会いできる方々は限られています。今後共、その中の「縁」を大切にしていきます。

風の丘墓地公園たより

西条市市民納涼花火大会は、毎年8月17日に開催と決まっています。これは、豊臣秀吉が四国攻めの際に、たくさんの人が亡くなり、その鎮魂の意義を込めて翌年の送り火としてはじめました。

遠く花火を見られる位置にある風の丘墓地公園では、竹灯籠の火を灯し、送り火のイベントとして8月17日に今年初めて開催しました。約800本の竹灯籠で、ハート、回廊、天の川を表現して、ご来場の皆さんに幻想的で織かな送り火を鑑賞いただきました。

風の丘墓地公園 木村



あとがき

秋分の日は「先祖をうやまい、亡くなった人をしのぶ日」とされています。

この秋分の日を調べてみると、毎年きっちりと決まっているのではなく、国立天文台が作成している暦要項(れきようこう)が官報に前年の2月1日に掲載されることで正式決定になるそうです。

秋分点を太陽が通過する瞬間を秋分日と呼び、地球の運行状態等で変わってくる為このように前年の2月に発表となるそうです。

今年の秋分の日は9月23日、この日の前後3日間の計7日間が「彼岸」になります。ちょうど季節の変わり目で、涼しい風が吹き過ぎしやすくなってくるこの時期に、ご先祖様への感謝の気持ちをこめて、家族そろってお墓をお参りされるのもよいのではないでしょうか。



出口秀美

お問い合わせ
資料請求

フリーコール

0120-44-5880

365日24時間対応しております。

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

◆後で想定外の費用が発生する事はございません
◆ご予算に合わせて内容の変更が可能です。

ご葬儀費用
ドリーマーの

役に立つ葬儀の話

Vol.40

ご葬儀の打合せまでに⑥

今回は故人様の服装についてのお話です。例えは病院で家族が亡くなった時、看護士から新しい寝間着や洋服を用意するように言われます。故人の死後処置と併せて身支度を整えてもらい、その後ご自宅か葬儀社に移動し、今度は納棺までに「仏衣」(神道なら「神衣」)に着替えます。「死装束」「白装束」とも言われ、多くの人は白一色のさらしの着物を連想されると思いますが、最近では刺繡や織柄があり、「白」ではなく「紫」や「緑」といった色の付いた仏衣も出るようになりました。この他にも、生前愛用していた仕事着、趣味の社交ダンスに着ていたドレス、大好きだった祭りのダボシャツなど故人様やご遺族の気持ちを考えたものに着替えることもあります。その場合は上から仏衣や神衣をかけるようになります。

ちなみに、昔から死装束はなぜ「白」だと思いますか?由来は諸説ありますが、浄土へ旅立つ際に穢れのない清らかな状態で向かうためだからだそうです。世俗の欲望や邪念を捨て、還礼や修行を行う僧侶のように死後も清白な気持ちが保てるよう「白い仏衣」を着せるようになりました。

浄土真宗以外の仏教では49日かけて巡礼の旅をするので、四国では馴染み深いお遍路さんが着ているような経帷子(きょうあかたびら)や手甲(てっこう)、脚絆(きゃはん)、足袋(たび)で旅支度をします。

浄土真宗では阿弥陀様が浄土へと導いてくださるので旅支度はせず、白服(はくふく・白い着物)に着替えます。

神道では「神衣」といって男性は白の狩衣(かりぎぬ)に着替え、鳥帽子(えぼし)を被り笏(しゃく)を持たせます。女性は白の小袴(こうちき)に着替え扇子を持たせます。昔の公家のような衣装ですね。キリスト教などは仏衣・神衣にあたるものはないので、愛着のあった衣装に着替えます。

さて、ここで死装束に関するいくつか注意点があります。伝統的な仏衣・神衣に着替えるなら大丈夫ですが、思い入れのある服の場合、火葬ができない場合があります。金属製のファスナーやガラス製のボタンなどデザインによっては外してもらわなければなりません。また、サイズにゆとりがなかったり生地が伸びにくいものだと死後硬直した体に着せににくい場合があります。もし心配であれば葬儀の担当者に確認してもらうか、着せににくい場合だと湯灌(ゆかん)といって故人様をぬる湯呑の風呂で洗い清めることで硬直が緩み、着替えがしやすくなる方法もあります。次回は湯灌についてお話ししましょう。



白石弥生

はなだより～コスモス～

まだまだ暑さは続きますが、ちょっとずつ秋めいてきましたね。9月に咲く花といえば「秋桜」と書いて「コスモス」で、秋の季語にもなっている植物です。そんな日本人に馴染み深いコスモスについてご紹介します!

コスモスの見頃はいつ??

コスモスの開花時期は6~11月頃です。開花のタイミングには3種類あります!1つ目は7~8月頃に咲く「夏咲き」、2つ目が10~11月に咲く「秋咲き」、3つ目が夏咲きと秋咲きの間に9月に開花させる「早咲き」です。

コスモス(cosmos)の由来

コスモスの花名「cosmos」の由来は、コロンブスのアメリカ大陸発見後、スペイン人がメキシコから持ち帰ったことが始まりだそうです!美しいという意味のギリシャ語「kosmos」に由来し、花びらが整然と並ぶこの花も「cosmos」と呼ぶようになったと言われています。



花言葉

コスモスの花色は様々で、ピンク、白、赤が一般的に知られています。他にも黄色や赤茶色などの珍しい花色も品種改良によって生まれています。全体の花言葉は「乙女の真心、純潔、愛情」などです。色によって花言葉も違いますが、女性らしい花言葉が多くあります。ピンク…「乙女の純潔」、白…「優美」、「美麗」、赤…「乙女の愛情」。他の色も、興味のある方は是非調べてみてください。コスモスの葉は線のように細く、繊細に見えますが、台風などで倒されてしまって茎の途中から根を出し、また立ち上がって花をつけるほど強い植物なんですよ!

天気のよい日にコスモス畑へお出かけしてみてはいかがでしょうか。辺り一面に広がる美しいコスモスを堪能してくださいね。